



CHAPTER 3

ファイルバックアップと管理データのエクスポートおよびインポートの管理

この章では、ファイルバックアップと管理データの管理手順を示します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元」 (P.3-1)
- 「ファイルバックアップの実行」 (P.3-3)
- 「管理データのエクスポートおよびインポートの実行」 (P.3-13)

Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元

バックアップ設定には、設定および関連付けの詳細などすべてのバックアップが含まれます。これは、バイナリ バックアップです。

Cisco VNMC ソフトウェアをバックアップ設定に復元するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco VNMC 仮想マシン (VM) をインストールします。

詳細については、『*Cisco Virtual Security Gateway, Release 4.2(1)VSG1(1)*』および『*Cisco Virtual Network Management Center, Release 1.0.1 Installation Guide*』を参照してください。

ステップ 2 Cisco VSG ポリシー エージェントをアンインストールします。

このタスク用に Cisco VSG コンソールにセキュア シェルを接続します。この手順により、トラフィックの中断は発生しません。

```
vsg# conf t
vsg (config)# vnm-policy-agent
vsg (config-vnm-policy-agent)# no policy-agent-image
```



(注) 復元する Cisco VNMC に関連するすべての Cisco VSG に対して次の手順を実行します。

ステップ 3 VSM ポリシー エージェントをアンインストールします。

このタスク用に VSM コンソールにセキュア シェルを接続します。この手順により、トラフィックの中断は発生しません。

```
vsm# conf t
vsm (config)# vnm-policy-agent
vsm (config-vnm-policy-agent)# no policy-agent-image
```



(注) 復元する Cisco VNMC に関連するすべての Cisco VSM に対して次の手順を実行します。

ステップ 4 Cisco VNMC データベースを復元します。

このタスク用に Cisco VNMC CLI にセキュア シェルを接続します。Cisco VNMC バックアップの場所により、ファイル転送プロトコル (FTP)、セキュア コピー (SCP)、Trivial File Transfer Protocol (TFTP)、またはセキュア ファイル転送プロトコル (SFTP) を使用して復元します。

```
vnmc# connect local-mgmt
vnmc(local-mgmt)# restore scp: [//[username@]server] [/path]
```

ステップ 5 Cisco VNMC GUI で、[Administration] > [Service Registry] > [Clients] を選択し、[Work] ペインで次の手順に進みます。

- a. 登録されている各 VSM に動作ステータスが lost-visibility として表示されるまで待機します。
- b. 各 VSM を選択し、[Delete Client] アイコンをクリックします。

ステップ 6 Cisco VNMC GUI で [Resource Management] > [Resources] > [Virtual Supervisor Modules] を選択し、削除した VSM が表示されていないことを確認します。

ステップ 7 VSM ポリシー エージェントを再インストールします。



(注) VSM ポリシー エージェントをアップグレードする必要がある場合は、ここで新しいソフトウェアをインストールします。

```
VSM# conf t
VSM (config)# vnm-policy-agent
VSM (config-vnm-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:vnmc-vsmpa.1.0.1g.bin
```

ステップ 8 すべての VSM がサービス レジストリに登録され、[Resource Management] > [Resources] > [Virtual Supervisor Modules] に表示されるまで待機します。

ステップ 9 Cisco VSG ポリシー エージェントを再インストールします。



(注) Cisco VSG ポリシー エージェントをアップグレードする必要がある場合は、ここで新しいソフトウェアをインストールします。

```
VSG# conf t
VSG (config)# vnm-policy-agent
VSG (config-vnm-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:vnmc-vsgpa.1.0.1g.bin
```

ステップ 10 復元プロセスが完了したら、次の状態を確認します。



(注) 復元プロセスはセットアップ環境によっては数分かかる場合があります。

- a. Cisco VSG CLI で、設定が以前の状態に復元されていることを確認します。
- b. Cisco VNMC GUI で、オブジェクトおよびポリシーが以前の状態に復元されていることを確認します。

ファイルバックアップの実行

この項は、次の内容で構成されています。

- 「ファイルバックアップの作成」 (P.3-3)
- 「ファイルバックアップの削除」 (P.3-4)
- 「ファイルバックアップの表示」 (P.3-5)
- 「ファイルバックアップのイネーブル化」 (P.3-5)
- 「ファイルバックアップのディセーブル化」 (P.3-6)
- 「ファイルバックアップの属性の使用」 (P.3-7)

ファイルバックアップの作成

ファイルバックアップを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **create backup** {ftp:<>//user@location/file> | scp:<>//user@location/file> | sftp:<>//user@location/file> | tftp:<>//server:port/path>} **full-state** {disabled | enabled}
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	create backup Example: vnm /system # create backup ftp://de@test/testfile full-state enabled	ファイルバックアップを作成します。
ステップ3	commit-buffer Example: vnm /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

■ ファイルバックアップの実行

例

次に、ファイルバックアップを作成する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # create backup ftp://de@test/testfile full-state enabled

Password:
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップの削除

ファイルバックアップを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **delete backup** <hostname or IP address>
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	delete backup Example: vnmcli /system # delete backup testhostname	ファイルバックアップを削除します。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイルバックアップを削除する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # delete backup testfile
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #
```

ファイルバックアップの表示

ファイルバックアップのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `show backup`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>show backup</code> Example: vnmcli /system # <code>show backup</code>	ファイルバックアップのリストを表示します。

例

次に、ファイルバックアップのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # show backup

Backup:
  Hostname  Type           User           Protocol Administrative State Description
  -----
  test      Full State     testOne        Ftp            Enabled
  testTwo   Full State     testTwo        Ftp            Enabled
vnmcli /system #
```

ファイルバックアップのイネーブル化

ファイルバックアップをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

■ ファイルバックアップの実行

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname>
3. **enable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope backup Example: vnm /system # scope backup testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	enable Example: vnm /system/backup # enable	バックアップをイネーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnm /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ファイルバックアップをイネーブルにする例を示します。

```
vnm# scope system
vnm /system # scope backup testhostname
vnm /system/backup # enable

Password:
vnm /system/backup* # commit-buffer
vnm /system/backup #
```

ファイルバックアップのディセーブル化

ファイルバックアップをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname>
3. **disable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope backup Example: vnm /system # scope backup testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	disable Example: vnm /system/backup # disable	バックアップをディセーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnm /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ファイルバックアップをディセーブルにする例を示します。

```
vnm# scope system
vnm /system # scope backup testhostname
vnm /system/backup # disable

Password:
vnm /system/backup* # commit-buffer
vnm /system/backup #
```

ファイルバックアップの属性の使用

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ファイルバックアップの説明属性の設定」 (P.3-8)
- 「ファイルバックアップに対するパスワード属性の設定」 (P.3-9)
- 「ファイルバックアップに対するプロトコル属性の設定」 (P.3-10)
- 「ファイルバックアップのリモートファイル属性の設定」 (P.3-10)

■ ファイルバックアップの実行

- 「ファイルバックアップに対するタイプ属性の設定」(P.3-11)
- 「ファイルバックアップのユーザ属性の設定」(P.3-12)

ファイルバックアップの説明属性の設定

説明属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname>
3. **set descr** <description>
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope backup Example: vnmcli /system # scope backup testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	set descr Example: vnmcli /system/backup # set descr testAll	説明属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、説明属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set descr testAll
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップに対するパスワード属性の設定

パスワード属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname>`
3. `set password`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli # <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: vnmcli /system # <code>scope backup testhostname</code>	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set password</code> Example: vnmcli /system/backup # <code>set password</code>	パスワード属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/backup* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、パスワード属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set password
```

```
Password:
vnmcli /system/backup #
```

■ ファイルバックアップの実行

ファイルバックアップに対するプロトコル属性の設定

プロトコル属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname>`
3. `set protocol`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: <code>vnmc /system # scope backup testhostname</code>	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set protocol</code> Example: <code>vnmc /system/backup # set protocol tftp</code>	プロトコル属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system/backup* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、プロトコル属性を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope backup testhostname
vnmc /system/backup # set protocol tftp
vnmc /system/backup* # commit-buffer
vnmc /system/backup #
```

ファイルバックアップのリモート ファイル属性の設定

リモート ファイル プレフィックス属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname>`
3. `set remote-file`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: vnmcli /system # scope backup testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set remote-file</code> Example: vnmcli /system/backup # set remote-file a	リモート ファイル プレフィックス属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、リモートファイルプレフィックス属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set remote-file-prefix /directory/file_a
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップに対するタイプ属性の設定

タイプ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

■ ファイル バックアップの実行

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname>
3. **set type**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope backup Example: vnm /system # scope backup testfile	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	set type Example: vnm /system/backup # set type full-state	タイプ属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnm /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、タイプ属性を設定する例を示します。

```
vnm# scope system
vnm /system # scope backup test
vnm /system/backup # set type full-state
vnm /system/backup* # commit-buffer
vnm /system/backup #
```

ファイル バックアップのユーザ属性の設定

ユーザ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname>`
3. `set user`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: vnmcli /system # <code>scope backup testhostname</code>	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set user</code> Example: vnmcli /system/backup # <code>set user techs</code>	ユーザ属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/backup* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ユーザ属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set user techs
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

管理データのエクスポートおよびインポートの実行

データ エクスポートには設定だけが含まれます。

この項は、次の内容で構成されています。

- 「管理データのエクスポート サービスの作成」 (P.3-14)
- 「管理データのエクスポート サービスの削除」 (P.3-15)
- 「管理データのエクスポート サービスの表示」 (P.3-15)
- 「管理データのエクスポート サービスのイネーブル化」 (P.3-16)
- 「管理データのエクスポート サービスのディセーブル化」 (P.3-17)
- 「管理データのインポート サービスの作成」 (P.3-18)

- 「管理データのインポート サービスの削除」 (P.3-19)
- 「管理データのインポート サービスの表示」 (P.3-20)
- 「管理データのインポート サービスのイネーブル化」 (P.3-21)
- 「管理データの属性の使用」 (P.3-23)

管理データのエクスポート サービスの作成

VNMC 管理データのエクスポート サービスを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **create export** {ftp:<://user@location/file> | scp:<://user@location/file> | sftp:<://user@location/file> | ftp:<://server:port/path>} {config-all | config-logical | config-system} {disabled | enabled}
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	create export Example: vnm /system # create export ftp://de@test/PA12 config-all enabled	管理データのエクスポート サービスをイネーブルにします。
ステップ3	commit-buffer Example: vnm /system* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスを作成する例を示します。

```
vnm# scope system
vnm /system # create export ftp://de@test/PA12 config-all enabled

Password:
vnm /system/export* # commit-buffer
```

管理データのエクスポート サービスの削除

管理データのエクスポート サービスを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `delete export <hostname or IP address>`
3. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>delete export</code> Example: <code>vnmc /system # delete export hostname</code>	エクスポート サービスを削除します。
ステップ3	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスを削除する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # delete export PA12
vnmc /system* # commit-buffer
vnmc /system #
```

管理データのエクスポート サービスの表示

エクスポート サービスのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `show export`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>show export</code> Example: vnmcli /system # <code>show export</code>	エクスポート サービスのリストを表示します。

例

次に、エクスポート サービスのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # show export
```

Management Data Export:

Hostname	User	Protocol	Data Export Type	Administrative State	Description
PA11	test	Ftp	Config System	Enabled	
PA13	test	Ftp	Config All	Enabled	

```
vnmcli /system #
```

管理データのエクスポート サービスのイネーブル化

管理データのエクスポート サービスをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <hostname or IP address>`
3. `enable`

4. commit-buffer

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope export</code> Example: <code>vnmc /system # scope export hostname</code>	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	<code>enable</code> Example: <code>vnmc /system/export # enable</code>	管理データのエクスポート サービスをイネーブルにします。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system/export* # commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope export hostname
vnmc /system/export # enable

Password:
vnmc /system/export* # commit-buffer
vnmc /system/export #
```

管理データのエクスポート サービスのディセーブル化

管理データのエクスポート サービスをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <hostname or IP address>`
3. `disable`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export hostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	disable Example: vnmcli /system/export # disable	管理データのエクスポート サービスをディセーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export hostname
vnmcli /system/export # disable

Password:
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

管理データのインポート サービスの作成

VNMC 管理データのインポート サービスを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **create import {ftp: | scp: | sftp: | tftp:} {merge} {disabled | enabled}**
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	create import Example: vnmcli /system # create import ftp://de@test/PA13 enabled	管理データのインポート サービスをイネーブルにします。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、管理データのインポート サービスを作成する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # create import ftp://de@test/PA13 enabled

Password:
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

管理データのインポート サービスの削除

管理データのインポート サービスを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **delete import** <hostname or IP address>
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>delete import</code> Example: vnm /system # delete import hostname	インポート サービスを削除します。
ステップ3	<code>commit-buffer</code> Example: vnm /system* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、インポート サービスを削除する例を示します。

```
vnm# scope system
vnm /system # delete import hostname
vnm /system* # commit-buffer
vnm /system #
```

管理データのインポート サービスの表示

インポート サービスのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `show import`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	show import Example: vnmcli /system # show import	インポート サービスのリストを表示します。

例

次に、インポート サービスのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # show import
```

```
Management Data Import:
  Hostname  User      Protocol Data Import Action Administrative State Description
  -----
  PA12      test     Ftp      Replace          Enabled
  PA14      test     Ftp      Replace          Enabled
vnmcli /system #
```

管理データのインポート サービスのイネーブル化

管理データのインポート サービスをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import** <hostname or IP address>
3. **enable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	enable Example: vnmcli /system/import # enable	管理データのインポート サービスをイネーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのインポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope import hostname
vnmcli /system/import # enable

Password:
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

管理データのインポート サービスのディセーブル化

管理データのインポート サービスをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import** <hostname or IP address>
3. **disable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	disable Example: vnmcli /system/import # disable	管理データのインポート サービスをディセーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、管理データのインポート サービスをディセーブルにする例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope import hostname
vnmcli /system/import # disable

Password:
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

管理データの属性の使用

この項は、次の内容で構成されています。

- 「インポートに対するアクション属性の設定」 (P.3-23)
- 「エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定」 (P.3-24)
- 「エクスポートおよびインポートに対するパスワード属性の設定」 (P.3-26)
- 「エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定」 (P.3-27)
- 「エクスポートおよびインポートに対するリモート ファイルプレフィックス属性の設定」 (P.3-28)
- 「エクスポートおよびインポートに対するタイプ属性の設定」 (P.3-30)
- 「エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定」 (P.3-31)

インポートに対するアクション属性の設定

アクション属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import** *<hostname or IP address>*
3. **set action**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set action Example: vnmcli /system/import # set action merge	アクション属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、アクション属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope import hostname
vnmcli /system/import # set action merge
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定

説明属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <hostname or IP address> | scope import <hostname or IP address>`
3. `set descr <description>`
4. `commit-buffer`

手順の詳細（エクスポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope export</code> Example: vnmcli /system # <code>scope export hostname</code>	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set descr</code> Example: vnmcli /system/export # <code>set descr testA</code>	説明属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/export* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope import</code> Example: vnmcli /system # <code>scope import hostname</code>	インポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set descr</code> Example: vnmcli /system/import # <code>set descr testA</code>	説明属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/import* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、エクスポート モードで説明属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
```

■ 管理データのエクスポートおよびインポートの実行

```

vnmcli /system # scope export hostname
vnmcli /system/backup # set descr testA
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup* #

```

エクスポートおよびインポートに対するパスワード属性の設定

パスワード属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <hostname or IP address> | **scope import** <hostname or IP address>
3. **set password**
4. **commit-buffer**

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export PA12	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	set password Example: vnmcli /system/export # set password	パスワード属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set password Example: vnmcli /system/import # set password	パスワード属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、インポート モードでパスワード属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope import hostname
vnmcli /system/import # set password

Password:
vnmcli /system/import #
```

エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定

プロトコル属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <hostname or IP address> | **scope import** <hostname or IP address>
3. **set protocol**
4. **commit-buffer**

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope export</code> Example: <code>vnmc /system # scope export hostname</code>	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set protocol</code> Example: <code>vnmc /system/export # set protocol ftp</code>	パスワード属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system/export* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope import</code> Example: <code>vnmc /system # scope import hostname</code>	インポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set protocol</code> Example: <code>vnmc /system/import # set protocol ftp</code>	プロトコル属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system/import* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、インポート モードでプロトコル属性を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope import hostname
vnmc /system/import # set protocol ftp
vnmc /system/import* # commit-buffer
vnmc /system/import #
```

エクスポートおよびインポートに対するリモート ファイル プレフィックス属性の設定

プロトコルを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <hostname or IP address> | **scope import** <hostname or IP address>
3. **set remote-file-prefix**
4. **commit-buffer**

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export hostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	set remote-file-prefix Example: vnmcli /system/export # set remote-file-prefix test	リモート ファイル プレフィックス属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	set remote-file-index Example: vnmcli /system/import # set remote-file-index test	リモート ファイル インデックス属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、エクスポート モードでリモート ファイル プレフィックス属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export hostname
vnmcli /system/export # set remote-file-prefix test
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

エクスポートおよびインポートに対するタイプ属性の設定

タイプ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup <hostname> | scope export <hostname or IP address>**
3. **set type**
4. **commit-buffer**

手順の詳細（エクスポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export hostname	エクスポート モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	set type Example: vnmcli /system/export # set type full-state	タイプ属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set type Example: vnmcli /system/import # set type full-state	タイプ属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、エクスポート モードでタイプ属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export hostname
vnmcli /system/backup # set type full-state
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定

ユーザ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <hostname or IP address> | scope import <hostname or IP address>`
3. `set user`
4. `commit-buffer`

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope export</code> Example: <code>vnmc /system # scope export hostname</code>	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set user</code> Example: <code>vnmc /system/export # set user techs</code>	ユーザ属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system/export* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope import</code> Example: <code>vnmc /system # scope import hostname</code>	インポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set user</code> Example: <code>vnmc /system/import # set user techs</code>	ユーザ属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system/import* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、インポート モードでユーザ属性を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
```

```
vnm /system # scope import hostname
vnm /system/import # set user techs
vnm /system/import* # commit-buffer
vnm /system/import #
```

■ 管理データのエクスポートおよびインポートの実行